



障がい者乗馬センター便り

令和2年11月号



「無料体験乗馬へのお誘い」事業終わる



この事業は、札幌市民まちづくり活動促進助成事業の「あなたが健康だと、だれかがうれしい」健康応援基金から助成(対象費目の50%)を受けて行う事業です。

助成事業に申請のは、昨年度末3月の段階では、コロナ問題発生前だったので、5月の連休から8月の夏休み迄の間で行うことにしていた。しかし、採択決定時の4月30日では、当センターの活動が休止の最中にあり事業実施が危ぶまれていた。

その後、5月21日から当センター事業は、制限付きで活動を再開し7月1日からその条件も緩和することになったので、この事業は、7月23日から10月1日までの間で8回、定員40名程度に変更して実施することとし、この度、無事終了することが出来ました。

今回のこの事業は、連休や夏休みの休暇がままならない中での参加を呼び掛けにどの程度の方が申し込みされるか心配したが障がい者2名、子供32名、一般健常者24名、計58名の方々が参加し、予定者数を大幅に上回る応募者を受け入れて、盛会裏に終わることが出来ました。

心身に障がいのある方 5歳以上のお子さま 健康志向の方など

無料乗馬体験のお誘い

馬とふれあい、乗馬を楽しんでみませんか?

要予約 各日先着5名様 各自1回限り

開催日
2020年7/23(木・祝)、7/30(木)、8/6(木)、8/13(木)、
9/3(木)、9/10(木)、9/17(木)、10/1(木)
レッスン時間は10:00~13:00の間です。

予約受付 ☎090-6440-3018 (大塚まで) 011-623-5285
☒therapy-joba@nifty.com

NPO法人 北海道障がい者乗馬センター
札幌市中央区南一条西6-2 ☎011-623-5285
当センターは、多くのボランティアの方々のお力で運営されています。
営業日の土・日・木のどこかの日で、馬のお世話をご協力いただけるボランティア募集



親子ファミリーデー盛大に終わる

毎年行っているセラピー倶楽部会員とその家族が秋空の下で馬と戯れ乗馬を楽しみ、野外バーベキューに舌鼓する催しは、三密を避けた内容に変更して23日(秋分の日)に実行しました。

実行内容は、10:00~15:00までの間を5区分し、各区分に原則2家族を配分する方法で、親子乗馬、親子で馬を引き、草を食べさせ、お子さん向けにシャボン玉遊び、お絵描き等で行った。各組は、時間制限により入れ替わるので終わった組から順次名残惜しそうなそぶりを残し帰って行きました。





第3回理事会が開催された

10月4日(日) 15:30から当センター事務所内で第3回理事会が開催され、次の事項が決定された。

1. RDAジャパンの準ユニットに参加登録する手続きに入ることが承認された。
2. 借入金用途について、厩舎屋根・漏電防止配電盤設置、仮設トイレ更新、馬場の砂投入・散布等への支出が承認された。
3. その他、役員懇談では、作業用軽トラックの購入や冬季の感染症対策などが話し合われた。

この理事会の承認を得て、事務局では、馬場の砂投入、厩舎屋根補修、漏電防止及びトイレの更新等工事を順次始めています。

障がい者招聘乗馬トレーニング終わる

例年、岩見沢市北村の廃校跡のグランドで行っていた岩見沢視覚障害者福祉協会の「乗馬と馬触れ合いの会」は、突然のコロナ問題で実施を断念することになった。その後、同協会の有志がどうしても馬に乗りたく立ち上がり、サッポロへ行って馬に乗ろうと同協会を通じて当センターに打診してきた。

この申し入れを受けて当センターは、道地域活動振興協会の助成承認を得て、10月8日と15日の2日間、「障がい者招聘乗馬トレーニング」の事業名で実施することとし、9名の参加で無事終了した。

多くの全盲の方々は、インストラクターと両サイドのサポーターの声掛けに耳を傾け、手の感触を頼りに、1時間ほどの乗馬トレーニングを楽しみ、有難うの言葉を残して岩見沢へ帰って行った。



お知らせ

今年の乗馬レッスンは、平日レッスンが12月24日(木)、通常レッスンが12月27日(日)を最終日とします。

新年のレッスン開始は、1月7日の平日レッスンを皮切りに通常レッスンが1月9日(土)からとします。

そらぶち派遣の馬が返ってきました

4月からそらぶち・キッズキャンプに派遣していたテリーと小次郎の2頭が11月の業務終了後の11月16日に帰ってきました。

7ヵ月もの間、盤溪の馬たちと離れていたのだから時間に掛かりそう。特に、屋外へ放馬するとウイングが嫌がらせを仕掛け、テリー・小次郎の食事を執拗に妨害する。このような状況から、当分の間、放馬時には別枠に入れなければならないようだ。

